

政策調整会議の概要

開催日 平成 22 年 8 月 12 日 (木)

◎項 目

- 1 10月の広報計画について【総務部】
- 2 ポスト龍馬博について【観光振興部】
- 3 第2回高知県産業連関表からわかること勉強会のお知らせについて【総務部】

◎内 容

1 10月の広報計画について【総務部】

総務部から10月の広報計画について説明を行った。

【概要説明】

- ・10月の広報計画について、「さんSUN高知」の特集では、学力テストの全国調査結果及び本県独自の調査結果も踏まえた上で、今後の取り組みを掲載する。また、県政ピックアップは、児童虐待の防止に向けたオレンジリボンキャンペーンの取り組みと、産業振興計画のPRイベントであるふるさとまつりについて取り上げる。
- ・テレビの特別番組は、正式にRKCと30分の特別番組の契約を結ぶことになり、10月3日、再放送として9日にアンテナショップを取り上げる。「おはようこうち」は、10月3日はグリーンツーリズムの事例紹介、10日は商人塾の前期報告と後期募集、17日はまとまりのある産地づくりに向けた篤農家の技術指導、24日はあったかふれあいセンターの取り組み、31日に土佐の魚の消費拡大としておさかな天国キャンペーンの取り組み紹介を想定している。
- ・ラジオ対談番組は、9月に引き続いて地域アクションプランの取り組みについて残り4地域を取り上げる。その間、12日は商人塾の前期報告と後期募集、21日は県財政の収支見通しの状況等について、28日はふるさとまつりについて取り上げる。
- ・「県民ニュース」は対談形式では受診率の向上対策を、アナウンサーの読み上げ形式では商人塾の後期募集と生涯学習フォーラムの周知を行う。

(副知事)

- ・アンテナショップ地下の観光コーナーはどんな戦略で取り組む予定か。単にコーナーを用意するだけにはならないように、産業振興推進部だけに任せるのではなく、観光振興部が戦略的に組みまなければならないのではないかと。どういう体制で、各階と連携して売り込んでいくか、産業振興推進部とよく相談してほしい。

2 ポスト龍馬博について【観光振興部】

観光振興部からポスト龍馬博について報告を行った。

【概要説明】

- ・8月3日の第3回ポスト龍馬博推進委員会では、冠のネーミングと、核を作るのかどうかという2点が議論になった。
- ・冠については「志国高知 龍馬ふるさと博(仮称)」で意見がまとまり、これを議会などにも説明の上、意見をいただき、9月議会で最終決定になる予定。
- ・ネーミングの意味は、まず「志国」については、高知は志を持った偉人を多く輩出した「志の国」という意味と「四国」を掛け合わせている。「龍馬」は大河ドラマ以前からずっと名前が通っていてネームバリューがあるということで、引き続き「龍馬」を活用していこうという意見だった。「ふるさと」については、龍馬に関係する地域はたくさんあるが、「ふるさと」は高知以外にはないと

ということと、誰しもふるさとへのノスタルジーがあるのではないかという意見があった。

・次に、核については、核をつくるべきだという意見と、既存のミュージアムや博物館などをもっと充実させて売り出していくことが高知県の地力を付けることになるのではないかという、2つの意見に分かれた。JTBやじゃらんの方は、核でインパクトを与えることで、高知に目が向いて、来ていただくことが必要で、そういう意味においては核が必要だという意見だった。

・核には、NHK大河ドラマ「龍馬伝」で使ったセットや小物を利用することを考えている。「福山龍馬が触った柱」などと説明をつければ観光客にとって魅力があるし、2～3年は固いだろうという意見が委員から出た。セットや小物などはNHKと交渉し、譲り受けられることとなった。

・設置場所については駅前と桂浜の2つの案が出たが、駅前には県下各地の観光情報を発信している「とさてらす」があることから高知駅がいいという意見だった。ただ、1月10日以降にドラマ館を撤去して、このセットを入れる建物を建てるとなると、完成は最短で7月になるため、6カ月のブランクができる。一方で大河ドラマは、次の「お江」や「平清盛」に移っていくため、ここで半年も間が空くのはよくない。セットについては龍馬伝の撮影が終わる10月中旬には引き取ってくるため、建物が完成するまでの間は「とさてらす」の南側をリフォームして、セットで使った小物や大道具を飾ってはどうかということで意見がまとまった。

・第4回は今月26日を予定しており、「志国高知 龍馬ふるさと博」の開催期間や具体的な内容などについて議論する。

・なお、今後高知県で開催される全国大会イベントについてとりまとめを行った。高知県が観光のオフシーズンになる6月～7月、12月～3月に開催すればより多くの客を呼び込めると考えている。

(副知事)

・全国大会やイベントの開催状況を整理してもらったのは、大勢の人が大会に参加するなら、事前にツアーを組み入れて募集して、もう1泊してもらえるような取り組みが必要だということを各部に認識して欲しいという意図があった。観光振興部がトータルコーディネートして、そういう仕掛けを組むように仕切らなければいけない。

3 第2回高知県産業連関表からわかること勉強会のお知らせについて【総務部】

総務部から第2回高知県産業連関表からわかること勉強会について案内を行った。

【概要説明】

・第2回「高知県産業連関表からわかること」勉強会を8月25日に開催する。今回は統計課で作成した経済波及効果簡易推計分析ツールについて説明をする。これは平成17年高知県産業連関表を用いて経済波及効果を簡単に計算できるというエクセルシートになっている。

・イベントと企業立地、建設投資の3つのテーマについて分析する。簡易な操作で、グラフ、フロー図などを含めた結果が出る。

(副知事)

・議会や県民に対して、また予算要求時などで波及効果を説明するときに活用できる。各部局、誰かは参加して、活用できるようにしておくように。